

2021年度ESD業務 事務局案

2021年度・第1回 ESD/EPO運営委員会

主催イベントの開催について

センター主催イベント予定の一覧

区分	開催日	設営方法	内容案	
ESD/SDGs推進ネットワーク地域フォーラム	2/19 (仮)	本会場:名古屋市内 + サテライト:各大学等	<ul style="list-style-type: none"> ● SDGs学生サミットとして開催(2020年度のSDGs未来都市所在大学の学生ディスカッションに続く2回目の位置づけ)。 ● 「SDGsチェックリスト」等のツールを活用。 	
自然資産を活かした地域・人づくりESDダイアログ	未定	オンライン	<ul style="list-style-type: none"> ● 第5期3年間に開催した「ユネスコエコパークを活用したESD」ダイアログからの継続として開催。 ● 中部のジオパーク、世界遺産・農業遺産等と環境省の国立公園等と関連づけて企画検討。 	
ESD/SDGs推進のための交流機会提供	SDGs社会教育 学びあいの場①	8/26 夜	オンライン	→詳細を次章で説明。
	SDGs社会教育 学びあいの場②	9/16 夜	オンライン	【本項目の業務について】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 地方センターが今年度からそれぞれに実施する新業務。 ・ 中部Cの仕様書では、ESD活動推進に資するテーマ(中小企業や自治体のESD/SDGs取組の促進、ユースと社会人のESD/SDGs連携等)を設定し、ESD関係者、の交流と学び合いの機会を提供するとの記載になっている。
	実践活動	10/30	六渡寺海岸 (富山県射水市)	
	(全国ESD フォーラム)	12/10～ 12/11	オンライン	・ 全国ESDセンター主催フォーラムで、上記の学びあい～実践活動について報告・発表
	SDGs社会教育 研究ワーキング	①7/6 ②9/30 ③12/後半	オンライン他	<ul style="list-style-type: none"> ● 専門家ワーキング:【メンバー】古澤礼太氏(中部大学国際ESD/SDGsセンター准教授)、水上聡子氏(アルマス・バイオコスモス研究所代表)、堺勇人氏(PECとやま事務局長)、原(中部地方ESD活動支援センター) ● 本項目の各活動、中部版ESDワークブック(後述)について検討

ESD/SDGs推進ネットワーク地域フォーラム

ユースと自治体によるSDGsオンラインフォーラム

「中部地方SDGs学生サミット」企画案

○概要

中部大学中部高等学術研究所デジタルアースルーム(壁面大型スクリーンと各種デジタルデータベースによるGIS活用)をハブとしたオンラインネットワークによるSDGsに向けた地域課題解決のためのディスカッションをオンラインで開催する。

○日時・場所 2022年1月ごろ

ハブ: 中部大学中部高等学術研究所デジタルアースルーム

サテライト: コア参加メンバー

○参加対象

・コア参加: オンラインミーティングに参加

・一般参加: 動画のライブ配信 一般視聴者を対象にEPO中部等で広報、動画配信

○プログラム(案)

・自治体SDGs施策、地域活動紹介

・学生のESD/SDGs活動の紹介

・ディスカッション

地域のローカルSDGs達成のために。すべきこと、できること!

主催: 中部地方ESD活動支援センター(環境省EPO中部内)

協力予定:

中部大学中部高等学術研究所、国際GISセンター 問題複合体を対象とするデジタルアース共同利用・共同研究拠点



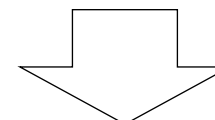
コア参加

ユース・学生

SDGs活動に関心のある学生

自治体職員

SDGs施策実施中の自治体



YouTube配信

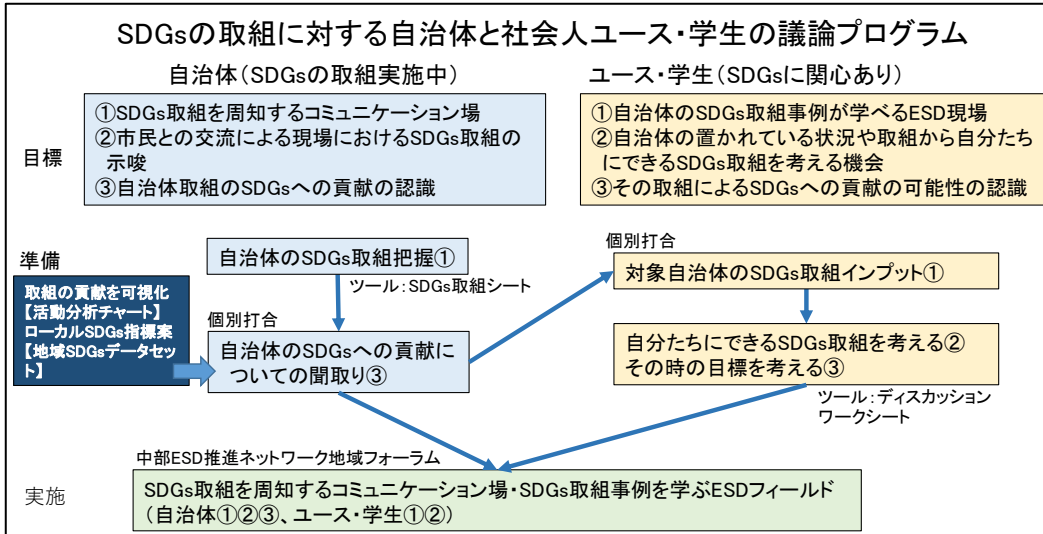


一般参加者

参考) 第5期作成「SDGsチェックリスト」をもとにしたディスカッションシートと中部大学と連携して検討した議論プログラム

ディスカッションシート 事前打合後～フォーラム終了に記述提出

- ・発表タイトル
- ・発表の内容
- ・SDGsとの関わり
- ・発表の内容が自治体のSDGs取組に貢献できること
- ・SDGsへの貢献内容をゴール別に記述
- ・自治体の発表や他の大学の発表に対する感想や提案
- ・今後自分やグループが発展させていきたい取組や新たに挑戦したい取組



中部地方ESD/SDGs推進ネットワーク地域フォーラム【2月14日開催】

！フォーラム終了後必ずメールで提出してください

ディスカッションワークシート:コア参加学生用

epochubuesdharma@gmail.com

(大学名と氏名は必ず入力してください。その他は空欄があっても構いません。)

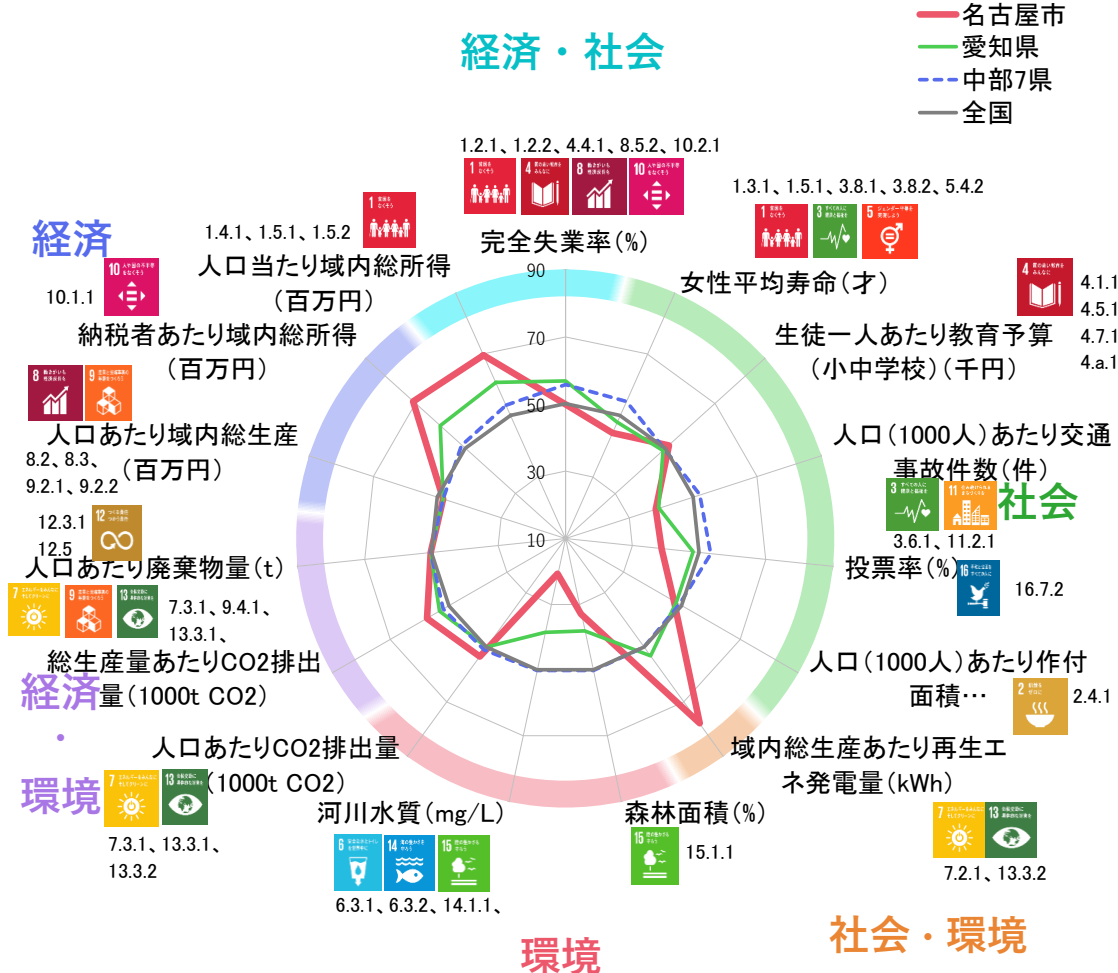
参加者	大学名 氏名 学年 担当		
	発表タイトル		
	発表の内容		
	SDGsとの関わり		
2段階に分けて記入	自分のグループが発表した内容がどのように各SDGsに関わっているか		
発表の内容が自治体のSDGs取組に貢献できること	ディスカッション参加までに考えたこと	いろいろな発表を聞いて考えたこと	
SDGsへの貢献内容を記述			
1 貧困をなくそう			
2 飢餓をゼロに			
3 すべての人に健康と福祉を			
4 質の高い教育をみんなに			
5 ジェンダー平等を 実現しよう			
6 安全な水とトイレを世界中に			
7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに			
8 働きがいも経済成長も			
9 産業と技術革新の基盤 をつくろう			
10 人や国の不平等をなく そう			
11 住み続けられる まちづくりを			
12 つくる責任つかう責任			
13 気候変動に具体的な 対策を			
14 海の豊かさを 守ろう			
15 陸の豊かさも 守ろう			
16 平和と公正を すべての人に			
17 パートナリーシップで目標 を達成しよう			
自治体の発表や他の大学の 発表に対する感想や提案			
今後自分やグループが発展 させていきたい取組や新たに 挑戦したい取組			

参考) 昨年度フォーラム用インプット資料として活用した自治体SDGsデータセット

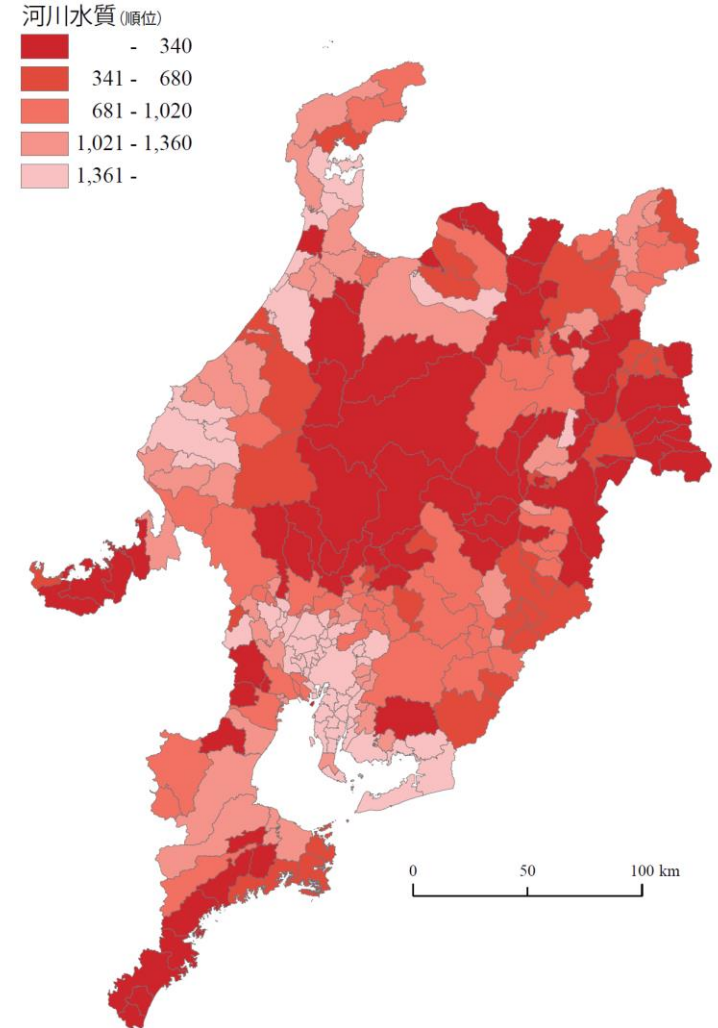
協力：中部大学中部高等学術研究所、国際GISセンター 問題複合体を対象とするデジタルアース共同利用・共同研究拠点

SDGs状況評価データ自治体レーダーチャートの例 (名古屋市)

名古屋市 偏差値チャート



中部地方デジタルマップの例 偏差値マップ9. 河川水質BOD平均値



出典：中部大学 国際GISセンター 問題複合体を対象とするデジタルアース共同利用・共同研究拠点研究、ローカルSDGs指標に基づく施策議論プログラムのESD活用研究、地域SDGs状況評価データセット(試案)

自然資産を活かした地域・人づくりESDダイアログ<ジオパークESDダイアログ>

1. 目的

ユネスコジオパークに焦点をあてつつ、国立公園、世界遺産、世界農業遺産など自然資産を活用したESDの在り方をディスカッションするダイアログを開催する。地域資源の管理者や関係者、興味のある教育関係者に参加を呼びかけ、自然資産の実情と課題を認識しつつ、ESD活用のありかたについて意見交換することを目的とする。

2. プログラム例

自然資産を活かした地域・人づくりESDダイアログ
オンラインまたはハイブリッド開催

<テーマ例>

ジオパーク

～自然の基(もとい)の学びからどんな力を養うか

<内容例>

第1部 自然資本としての公園について

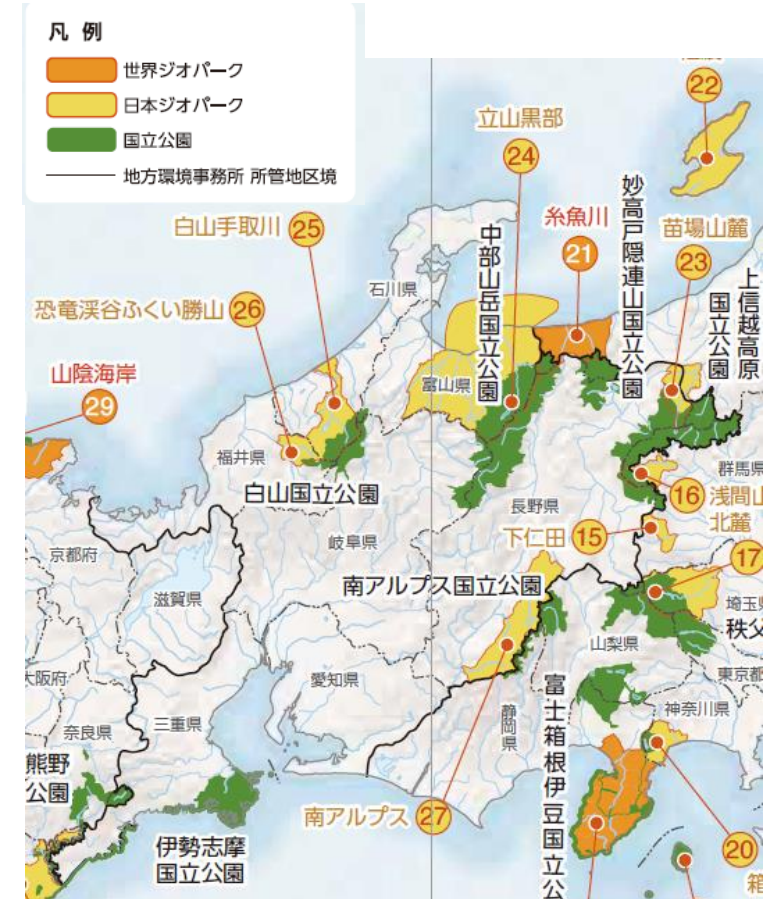
- ・公園の種類や役割等についてのインプット

第2部 中部地方のジオパーク、その活用

- ・ジオパークの話題提供

第3部 自然公園のESD活用事例とそのあり方

- ・活用事例紹介（教育現場のESDなど）
- ・ESD活用についてのディスカッション



参考) 中部地方の自然資産、地域資源

中部地方のジオパークと関連する国立公園

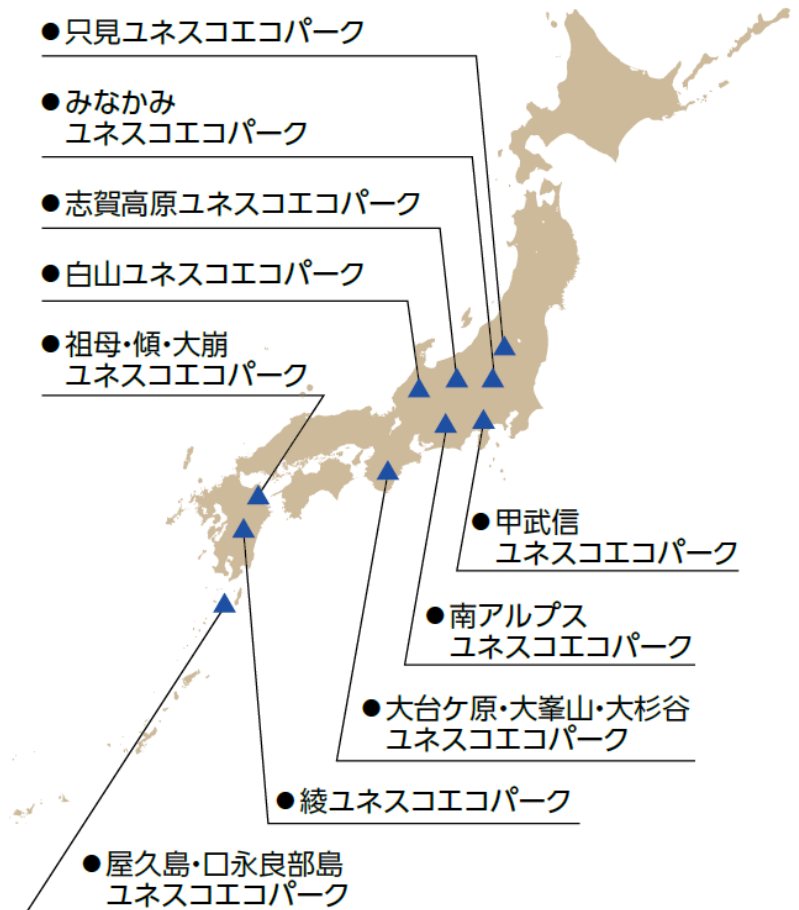
ジオパーク	国立公園
苗場山麓	上信越高原国立公園
立山黒部	中部山岳国立公園
白山手取川	白山国立公園
恐竜溪谷ふくい勝山	白山国立公園
南アルプス	南アルプス国立公園

中部地方の世界農業遺産・日本農業遺産認定地域

- ・富山県氷見地域「氷見の持続可能な定置網漁業」【日本農業遺産】
- ・石川県能登地域「能登の里山里海」【世界農業遺産】
- ・福井県三方五湖地域「三方五湖の汽水湖沼群漁業システム」【日本農業遺産】
- ・岐阜県長良川上中流域「清流長良川の鮎」【世界農業遺産】
- ・三重県鳥羽・志摩地域「鳥羽・志摩の海女漁業と真珠養殖業」【日本農業遺産】
- ・三重県尾鷲市、紀北町「急峻な地形と日本有数の多雨が生み出す尾鷲ヒノキ林業」【日本農業遺産】

中部地方のユネスコエコパーク

志賀高原
白山
南アルプス
大台ヶ原・大峯山・大杉谷



新業務：ESD/SDGs推進のための交流機会提供

全国ESDフォーラム分科会活動(5-7:交流機会の提供)

- ESD活動推進に資するテーマ(中小企業のESD/SDGs取組の促進、自治体のESD/SDGs取組の促進、ユースと社会のESD/SDGs連携等)を定めて地域内外のESD関係者に交流と学び合いの機会を提供することを目的に、環境省、文科省、ESD全国センターが共催するESD全国フォーラムに分科会活動を提案実施する。なお、中部地域では、「ローカルSDGsのためのESDの社会実装」を目指す。

SDGs社会教育研究ワーキング(5-1:ESDワークブック)

- 中部地方のローカルSDGsを担う人材育成に役立つESD情報ツールパッケージとして、「(仮)中部版ESDワークブック～学生・社会人のための地域社会SDGs実践」(プロトタイプ版)を作成する。学生・社会人、SDGsに取り組むことの難しい中小企業等のいずれかを対象とする。

SDGs社会教育研究会専門家コアメンバーと実働内容について

全国ESDフォーラム分科会活動（公開、中部地方及びその他の地域から参加者募集）

- 「社会ESD学びあいの場」の開催（2回、オンライン）
勉強会、意見交換会となる学びあいの場を設営、開催（話題提供とディスカッション）
話題提供者は専門家コアメンバー、中部地方ESD活動支援センターを想定
- 実践活動（1回、現場・オンラインのハイブリッド）
学びあいを踏まえた現場とオンライン併用のSDGs社会教育実践セミナーの開催。
「PECとやま」の実績とネットワークを生かして、富山市にハブ拠点を置いた実施を想定。
- 全国ESDフォーラムへの参加（1回、現場での開催想定/全国センター主催）

SDGs社会教育研究ワーキング（非公開、専門家コアメンバー・WGによる）

- 研究ワーキングの開催（3回、現場またはオンライン）
第1回研究ワーキング：SDGs社会教育体系とワークブックの構成、実践活動開催計画
第2回研究ワーキング：学びあいの場開催評価、事例整理、ワークブックコンテンツ
第3回研究ワーキング：全国フォーラム振り返り、ワークブックへの反映

専門家コアメンバーWG案、敬称略

専門家コアメンバー

- 古澤礼太 中部大学国際ESD/SDGsセンター准教授 中部ESD拠点協議会事務局長
- 水上聡子 EPO中部運営委員 アルマス・バイオコスモス研究所代表
- 堺 勇人 EPO中部運営委員 一般社団法人 環境市民プラットフォームとやま（PECとやま）事務局長
- 原 理史 中部地方ESD活動支援センター 中部大学国際ESD/SDGsセンター研究員（非常勤）

オブザーバー

- 環境省中部地方環境事務所 担当官

事務局

- 清本三郎 中部地方環境パートナーシップオフィス 統括

SDGs社会教育研究会進め方の想定

～5月頃

準備

6-10月頃

学びあいの
場の開催と
研究会

11月頃

社会ESD
実践活動

12月頃

全国ESD
フォーラム
(12月10、11日)

12月～1月頃

ワークブック
プロトタイプ
とりまとめ

- ・ 社会ESD体系の
リサーチ
- ・ ワーキングブック
のあらすじ
- ・ 「学びあいの場」
の開催計画

- ・ 「学びあいの場」へ
の関係機関・地域
に参加を呼びかけ
- ・ 第1回研究ワーキン
グ(7/6)社会ESD体
系とワークブックの
構成、実践活動開
催計画
- ・ 「学びあいの場」の
開催(2回:8/26、
9/16)
- ・ 第2回研究ワーキン
グ:学びあいの場
開催評価、事例整
理、ワークブックコ
ンテンツ(9/30)

- ・ 学びあいを踏まえた
現場とオンライン併
用の社会ESD実践
セミナーの開催
(10/30)

- ・ 全国フォーラム
への参加、発表
(12/10～11)
- ・ 全国フォーラム
振り返り、ワーク
ブックへの反映
- ・ 第3回研究ワー
キング:全国
フォーラム振り返
り、ワークブック
への反映

- ・ ワークブック内容
のとりまとめ
- ・ プロトタイプの開
閉

SDGs社会教育「学びあいの場」開催イメージ（2回）

- オンライン開催：全国センター、各地方センターと連携広報
- 対象：全国の地域ESD拠点、ESD関係者、企業SDGs担当者、等
- プログラム（計90分）
 - 基調講演（学識者による、30分）
 - 話題提供（専門家コアメンバーによる、20分）
 - 休憩（5分）
 - パネルディスカッション・フロアディスカッション（30分）
 - とりまとめと総括（5分）

- 基調講演①
 - 【仮】地域循環共生圏の担い手に求められる能力とは、SDGs社会教育の必要性
 - 佐藤真久 東京都市大学環境学部教授
- 基調講演②
 - 【仮】SDGs人材を定着させる～中部ESD拠点協議会の取組から
 - 古澤礼太
 - 中部大学国際ESD/SDGsセンター准教授
- 話題提供①
 - 福井県坂井市のまちづくり協議会の取組
 - 水上聡子
 - アルマス・バイオコスモス研究所代表
- 話題提供②
 - 環境市民プラットフォームとやまの取組
 - 堺 勇人
 - PECとやま 事務局長

SDGs社会教育研究会実践活動企画

実践活動（1回、現場・オンラインのハイブリッド）

学びあいを踏まえた現場とオンライン併用の社会ESD実践セミナーの開催。

「PECとやま」の実績とネットワークを生かして、富山市にハブ拠点を置いて実施。

● 背景と場所

六渡寺海岸、海流でゴミがたまりやすい。砂浜にプラが入り込んでいたりする。昨年実施のPECとやまワークショップ「未来新聞を作る」でここを取り上げたグループあり。地元は問題を発信したがっており慣れている。公民館をベースに可能。小矢部川、庄川流域。流域ベース、上下流行政を含む参加を視野に。

● しつらえ

期日：2021年10月30日（土）午後を中心に企画（午前現地、午後WSなど）

場所：六渡寺海岸（富山県射水市庄西町）、射水市庄西コミュニティセンター（仮）

● テーマ：誰一人取り残されない日常的SDGs実践とは～総合的把握を実例で体験する。

気づきから自分ごとへ～**まるっと**つかもう。海ごみからみんなで考える。

● 目標

庄川、小矢部川流域、庄川流域の関係者みんなでSDGs的な俯瞰体験をする

● 対象者（現場）

六渡寺海岸地元の人、流域オピニオンリーダー、流域行政担当者、企業のCSR担当者、学校関係者、特別支援学校関係者

規模感 参加30人程度（現場）

● 対象者（オンライン）

全国の地域ESD拠点担当、その他地域や企業や団体のキーマン⇒持ち帰って水平展開

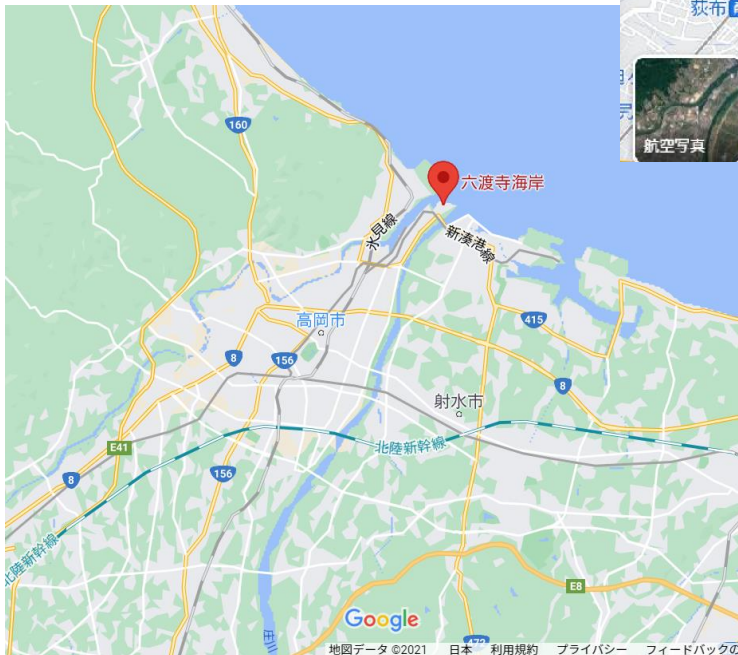
SDGs社会教育研究会実践活動対象地周辺関連情報（富山県、六渡寺海岸）



庄西コミュニティセンター
<https://www.city.imizu.toyama.jp/hp/svFacHP.aspx?faccd=4002130>



六渡寺海岸のごみ
<https://www.pref.toyama.jp/1706/kurashi/kankyoushizen/kankyou/mizuhozen/2mamorou/group/23.html>



参考) 前年度・2020年度実施のESD全国フォーラム分科会

ESD推進ネットワーク全国フォーラム2020

2020年12月19日(土)9:30~17:30

分科会1-2 SDGsの取組を社会実装するためのESD

~どんな人材が望まれるのか、育成するのか~

13:30~15:00

話題提供 1

社会人を対象としたESD実践の展開~SDGsチェックリストを用いたワークショップ

堺 勇人 PECとやま事務局長

話題提供 2

企業におけるSDGsの取組と社員教育のありかた~株式会社平野薬局の取組を事例として

株式会社平野 平野 啓三 取締役会長

パネルディスカッション

ファシリテーター

古澤礼太 中部大学国際ESD/SDGsセンター准教授

パネリスト

話題提供者2名に加え、四国ESDC宇賀神、中部ESDC原



ESD活動支援センター
Education for Sustainable Development

「ESD推進ネットワーク全国フォーラム2020」
SDGs実現社会に向けた人づくり
~ESD推進ネットワークがつなぐ多様な主体の連携協力~

2020年12月19日(土)
9:30~17:30

オンライン開催
お申し込みいただいた方にZoomのURLをお知らせします。

参加費無料

ESD推進ネットワーク全国フォーラムは、ESD推進ネットワークの主たるステークホルダーが一層に集いESDに関する最新の国際動向、国内動向、ネットワーク形成の状況を共有するとともに、全国各地の実践事例を学ぶ機会として開催しています。

「ESD=SDGs達成に向けた人づくり」に関わる学校・団体・企業など、全国各地から多くの方のご参加をお待ちしています。

「ESD推進ネットワークユースフォーラム2020」
SDGs達成に向けて活動する様々なユースネットワーク団体が一堂に集い、情報・意見交換を行うとともに、ESD活動推進ネットワークとの連携促進を図ります。詳細・申込方法はウェブサイトをご覧ください。
日時：12月13日(日) 15:00~17:00
会場：オンライン開催(ZOOM)

サテライト
企画!!

参加者
募集中

参加ご希望の方は、ESD活動支援センターウェブサイトから申込フォームに入り、必要事項をご記入ください。

※各団体等の取組を動画や資料等でご紹介いただける「バーチャル・ポスターセッション」の出展者も合わせて募集します。詳細はウェブサイトをご覧ください。

主催 ESD活動支援センター、文部科学省、環境省

お問い合わせ
ESD活動支援センター TEL:03-6427-9112 <https://esdcenter.jp/>
E-mail: contact@esdcenter.jp

中部版ESDワークブックの作成

1. 資料調査と実例の収集分析

センターの運営や有識者ヒヤリング、イベント開催などを通じて、関係する資料や実例の記録を収集する。特に5－7交流機会の提供（分科会活動）を通じた情報収集に注力する。

2. ワーキンググループの設置と開催

有識者と実務者から成るワーキンググループを設置し、ワークブックVr.1作成に向けたディスカッションを3回実施する（SDGs社会教育研究ワーキングにて実施）。

3. コンテンツの作成

ワークブックのコンテンツ内容について作成する。

ワークブックVr.1の目次構成想定（現段階の仮案）

1. ローカルSDGs実現のための人づくり「SDGs社会教育」が必要なわけ
2. 「SDGs社会教育」の学習目標～どんな人になってほしいか
3. 「SDGs社会教育」の実践方法の例
～誰を対象にした、どんな学習方法があるか
4. 実践体制をどのように構築するか～中部地方の実例から
5. 「SDGs社会教育」学習計画検討シート
6. 中部地方の「SDGs社会教育」お役立ち情報
(自治体部署、施設、組織、ツール。。。。?)

その他

① 専門家に包括ヒアリング(1名／回予定)

- ・ 古澤礼太氏(中部大学国際ESD/SDGsセンター准教授)に実施済み。

② 教育部局、教育員会、現場の教員等(2名／回予定)

- ・ 昨年度・2020年度に引き続き、教育関係者が多数参加するイベント実施の際などに、ヒアリングを実施予定。

【2020年度実施ヒアリングの例】

【ヒヤリング対象】 ① 高校教育現場の教職員

日時: 2020年8月20日 13:30~16:30

場所: 富山県富山市富山県民共生センターサンフォルテ

方法: 高校教職員向けESDセミナーにおける取材、ヒヤリング

対象: 「高等学校教員向けSDGs教育セミナー・『総合的な探究の時間』におけるSDGs教育」参加の教職員

注目すべき課題と現状評価

- ・ 持続可能性の概念理解とESDの「はぐくみたい力」を伸ばすには高校教育における「総合的な探求の授業」が大きな役割を果たす。

今後の連携方向に関する検討

- ・ ESDの実現として「総合的な探求の授業」の実践と研究の推進における情報提供や連携
- ・ 教職員を含む学習現場の関係者にESDの概念を伝える講座、研修の充実における人材紹介や情報提供等の支援

■ウェブサイトの活用

- 中部地方ESD活動支援センターウェブサイトで、ワーキング等の開催広報、実施報告等を紹介する。
- また、地域ESD拠点登録団体から寄せられた情報には専用タグを付けて発信する(専用コーナーを設置する)。

■SDGsチェックリストの活用事例公開

- 引き続き、SDGsチェックリストの活用事例もウェブサイトで紹介・公開し、中部センターによる支援事例としてPRする。

■SNSの活用

- Facebookページを拡散用ツールとして活用し、ウェブサイトとも連動した投稿を行う。

事業報告・SDGsワークショップ



2020.12.01 SDGsワークショップ

片平学区50周年記念「環境学習会」でSDGsワークショップを実施しました



2020.08.06 SDGsワークショップ 中部の地域ESD拠点

「SDGsチェックリスト活用セミナー」参加者による自主企画ワークショップが開催されました

一般社団法人グローバル愛知(地域ESD拠点)が、当センターの「SDGsチェックリスト」を活用したワークショップを開催しました。



2020.07.09 SDGsチェックリスト SDGsワークショップ

「SDGsチェックリスト活用セミナー」をオンライン開催&ライブ配信しました



2019.12.18 SDGsワークショップ 事業報告

岐阜県西濃エリアのNPOを対象にSDGsチェックリスト活用ワークショップを開催しました

SDGs検証ワークショップの3回目として、大垣市多目的交流イベントハウスにて開催しました。



2019.09.02 SDGsワークショップ 事業報告

味噌煮込みうどん屋さんでSDGsチェックリスト活用ワークショップを開催しました

SDGs検証ワークショップの2回目として、味噌煮込みうどん屋さんの大久手山本屋にて開催しました。



2019.06.07 SDGsワークショップ 事業報告

愛知県日進市の自治体職員を対象にSDGsチェックリスト活用ワークショップを開催しました

